

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

教員による授業はソフトウェアなどの使い方が中心になってしまうため、企業等と連携することにより、企業内でのIT活用の最新動向および活用事例や効果などが分かる授業内容となることを目的とする。具体的には、「ものづくり実務」授業に企業からの講師を招き授業を行う。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程編成委員会では、企業から提示された「ものづくり実務」授業スケジュールを授業内容や方法などの観点で審査し、「ものづくり実務」授業実施の可否を判断する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和7年9月13日現在

名前	所属	任期	種別
原 裕樹	ゆうき法務事務所	令和6年12月1日～令和8年11月30日(2年)	①
山本 宏太郎	校長	令和6年12月1日～令和8年11月30日(2年)	—
稲永 光久	IT学科長	令和6年12月1日～令和8年11月30日(2年)	—
江崎 俊一	森山工業株式会社	令和6年12月1日～令和8年11月30日(2年)	③
〇〇 〇〇	〇〇〇〇〇	令和〇年〇月〇日～令和〇年〇月〇日(2年)	
〇〇 〇〇	〇〇〇〇〇	令和〇年〇月〇日～令和〇年〇月〇日(2年)	
〇〇 〇〇	〇〇〇〇〇	令和〇年〇月〇日～令和〇年〇月〇日(2年)	
〇〇 〇〇	〇〇〇〇〇	令和〇年〇月〇日～令和〇年〇月〇日(2年)	

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「—」を記載してください。)

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(3月、9月)

(開催日時(実績))

第1回 令和6年3月13日 13:00～14:30

第2回 令和6年9月12日 13:00～14:30

第〇回 令和〇年〇月〇日 〇〇:〇〇～〇〇:〇〇

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

今回の「ものづくり実務」授業は2023年度入学者が2年次前期(2024年度前期)に実施したが、インターンシップ実施時期や就職活動時期を考慮すると、1年次後期に実施すべきであるとの要望が出された。よって、2024年度入学者は1年次後期に「ものづくり実務」授業を実施し、その後、インターンシップ(1年次後期)⇒就職活動(2年次)に変更する。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

企業が実際に行っている業務内容を元に学生が理解できる内容のものを実施する。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

事務所や工場などの見学および実務に即した体験を行う。

学校での授業でAutoCADを教えているが、実際の建築図面の書き方が理解できて実務体験ができたと考える。企業からもCAD操作に非常に慣れていて操作が早い、また、思った以上に日本語でのコミュニケーションがとれたなどの評価をいただいた。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	企業連携の方法	科目概要	連携企業等
ものづくり実務	5. その他※具体的な連携方法を科目概要欄に記述すること。	コミュニケーションスキルを身に着けるために、日本語を習得する。	森山工業株式会社、株式会社アイ
		日本社会で必要となるビジネスマナー（挨拶、表情、身だしなみ、言葉遣い、態度）を習得する。	
		学生への連絡事項の通知など。	
		AutoCADの2次元操作を習得し、オートデスク認定資格プログラムAutoCADユーザーの資格取得を	
		IT(情報ビジネス)学科で学んだスキルで、各自のテーマで研究し最終日に発表会を開く。	

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

IT(情報ビジネス)学科の教員に対し、「ものづくり実務」授業およびインターンシップなどの機会をIT関連の最新の動向、知識、活用事例などを習得する。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名: コンクリート型枠設計の実務体験 連携企業等: 森山工業株式会社

期間: 2024/4/25、2024/6/6、2024/7/25 対象: 稲永

内容: コンクリート型枠作りを通して、ものづくりの楽しさ、難しさを知る

研修名: 建築物の一連の流れと図面の初級練習 連携企業等: 株式会社ユアサデザインルーム

期間: 2024/5/9、2024/5/23、2024/5/30 対象: 稲永、淵上

内容: 建築物の種類・名称・使用用途について、図面を書いてみよう(平面図、展開図)

研修名: ○○○ 連携企業等: 株式会社○○

期間: ○○○ 対象: ○○

内容: ○○○○○

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名: コンクリート型枠設計の実務体験 連携企業等: 森山工業株式会社

期間: 2024/4/25、2024/6/6、2024/7/25 対象: 稲永

内容: コンクリート型枠設計に関する知識を習得し指導力を向上する

研修名: 建築物の一連の流れと図面の初級練習 連携企業等: 株式会社ユアサデザインルーム

期間: 2024/5/9、2024/5/23、2024/5/30 対象: 稲永、淵上

内容: 建築物設計に関する知識を習得し指導力を向上する

研修名: ○○○ 連携企業等: 株式会社○○

期間: ○○○ 対象: ○○

内容: ○○○○○

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名:	建設業務の概要説明及び、CADによる建築図面の作図	連携企業等:	株式会社ユアサデザインルーム
期間:	45971	対象:	稲永、淵上、東之藺
内容	建設業務の流れ、詳細説明、CADによる建築図面の作図		

研修名:	〇〇〇	連携企業等:	株式会社〇〇
期間:	〇〇〇	対象:	〇〇
内容	〇〇〇〇〇		

研修名:	〇〇〇	連携企業等:	株式会社〇〇
期間:	〇〇〇	対象:	〇〇
内容	〇〇〇〇〇		

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名:	建設業務の概要説明及び、CADによる建築図面の作図	連携企業等:	株式会社ユアサデザインルーム
期間:	45971	対象:	稲永、淵上、東之藺
内容	CADによる建築図面の作図を体験することにより指導力を向上する		

研修名:	〇〇〇	連携企業等:	株式会社〇〇
期間:	〇〇〇	対象:	〇〇
内容	〇〇〇〇〇		

研修名:	〇〇〇	連携企業等:	株式会社〇〇
期間:	〇〇〇	対象:	〇〇
内容	〇〇〇〇〇		

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

地域の方や本校に関係する方々3名で構成し、学校関係者として定め、学校関係者評価委員会を設置し、開催する。本校の学校運営や教育方針、取組みをまとめたものを評価いただく。評価結果を基に学校長を中心とし、前期期間中に改善措置を講ずることによって、教育水準の更なる向上を図る。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	理念・目的・育成人材像は定められているか、学校の特色は明確に
(2) 学校運営	目的に沿った運営方針は定められているか、方針に沿った事業計画
(3) 教育活動	学科ごとに、カリキュラムは体系的に編成されているか、業界と連携し
(4) 学修成果	就職率の向上が図られているか、資格取得率の向上が図られている
(5) 学生支援	進学・就職指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか、学
(6) 教育環境	施設設備は十分に整備されているか、インターンシップ、研修等につい
(7) 学生の受入れ募集	学生募集活動は適正に行われているか、学生納付金は適正・妥当に
(8) 財務	中長期的に学校の財務基盤は安定しているか、予算・収支計画は妥
(9) 法令等の遵守	設置基準等は遵守されているか、個人情報保護は適切に行われてい
(10) 社会貢献・地域貢献	-
(11) 国際交流	-

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

評価結果や頂いたご意見については真摯に受け止め、本校の教育活動・学校運営の更なる改善や向上に活かす。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名前	所属	任期	種別
鶴田 尚利	社会保険労務士	令和6年4月1日 ～令和8年3月31日(2年)	企業等委員
吉田 淳一郎	一般企業	令和6年4月1日 ～令和8年3月31日(3年)	企業等委員
横尾 金紹	元県庁職員	令和6年4月1日 ～令和8年3月31日(4年)	地域住民
〇〇 〇〇	〇〇〇〇〇	令和〇年〇月〇日～令和〇 年〇月〇日(2年)	〇〇
〇〇 〇〇	〇〇〇〇〇	令和〇年〇月〇日～令和〇 年〇月〇日(2年)	〇〇
〇〇 〇〇	〇〇〇〇〇	令和〇年〇月〇日～令和〇 年〇月〇日(2年)	〇〇
〇〇 〇〇	〇〇〇〇〇	令和〇年〇月〇日～令和〇 年〇月〇日(2年)	〇〇
〇〇 〇〇	〇〇〇〇〇	令和〇年〇月〇日～令和〇 年〇月〇日(2年)	〇〇
〇〇 〇〇	〇〇〇〇〇	令和〇年〇月〇日～令和〇 年〇月〇日(2年)	〇〇
〇〇 〇〇	〇〇〇〇〇	令和〇年〇月〇日～令和〇 年〇月〇日(2年)	〇〇
〇〇 〇〇	〇〇〇〇〇	令和〇年〇月〇日～令和〇 年〇月〇日(2年)	〇〇
〇〇 〇〇	〇〇〇〇〇	令和〇年〇月〇日～令和〇 年〇月〇日(2年)	〇〇
〇〇 〇〇	〇〇〇〇〇	令和〇年〇月〇日～令和〇 年〇月〇日(2年)	〇〇
〇〇 〇〇	〇〇〇〇〇	令和〇年〇月〇日～令和〇 年〇月〇日(2年)	〇〇

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他(「自己評価」として刊行物を作成し、本校図書室に常備する。))

URL: 〇〇〇〇〇

公表時期: 45810

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針  
 専門学校における情報提供等への取組に関するガイドラインに従って公開する。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校の特色、建学の精神、教育理念、理事長名、所在地、連絡先、施設
(2)各学科等の教育	入学者に関する受け入れ方針及び入学者数、時間割、カリキュラム、目
(3)教職員	教職員数
(4)キャリア教育・実践的職業教育	インターンシップの実例、体験談等
(5)様々な教育活動・教育環境	学校行事、課外活動等
(6)学生の生活支援	聾話者学生に対する支援の実例、留学生の地域交流の実例、中途退学
(7)学生納付金・修学支援	納付金の取り扱い、留学生向け佐賀県奨学金の案内、就学支援金制度
(8)学校の財務	貸借対照表、収支計算書、監査報告書、事業報告書
(9)学校評価	自己評価、学校関係者評価の結果
(10)国際連携の状況	在校留学生の地域社会との交流事業例
(11)その他	学則

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他( ))

URL: [https://codo.ac.jp/index\\_codo/](https://codo.ac.jp/index_codo/)

公表時期: 45809